

会 議 録

1 附属機関等の会議の名称

令和元年度第2回美里町子ども・子育て支援事業計画策定等委員会

2 開催日時 令和2年3月24日（火）午後2時00分から午後3時12分

3 開催場所 近代文学館 2階視聴覚会議室

4 会議に出席した者

（1）委員

塩野悦子委員長、青木英治副委員長、大平敏雄、澤村美香子、伊藤努、千葉千代、多田より子、

（2）事務局

子ども家庭課 課長 櫻井清禎、参事 今野正祐、課長補佐 齊藤眞

5 議題及び会議の公開・非公開の別

議事（1）第2期美里町子ども・子育て支援事業計画（案）について

議事（2）第2期美里町子ども・子育て支援事業計画の策定に係る町長への答申について

会議 公開

6 非公開の理由

—

7 傍聴人の人数

0人

8 会議の資料

資料1：「第2期美里町子ども・子育て支援事業計画（案）」に対するパブリックコメント

資料2：提出された意見等の概要及び提出された意見等に対する対応

資料3：第2期美里町子ども・子育て支援事業計画（案）

9 会議の概要

- (1) 第2期美里町子ども・子育て支援事業計画（案）について
資料に基づき事務局が説明を行った。

櫻井課長 定刻となりましたので、委員会を始めさせていただきます。本日はお忙しい中ご出席いただき、大変ありがとうございます。只今から、令和元年度第2回美里町子ども・子育て支援事業計画策定等委員会を開催いたします。本日は、委員8人中7人の委員の出席をいただいております。美里町子ども・子育て支援事業計画策定等委員会条例第4条第2項におきまして、委員会の会議は、委員の半数以上の出席が必要ですが、本日は定足数を満たしていることを報告いたします。はじめに、塩野委員長からごあいさつをお願いいたします。

塩野委員長 (あいさつ省略)

櫻井課長 ありがとうございます。ここで、会議の次第にはございませんが、当委員会の会議の運営についてお諮りさせていただきます。委員長よろしいでしょうか。

塩野委員長 はい。

櫻井課長 美里町附属機関等の会議の公開に関する規則第15条、会議録作成には、会議録を作成し、当該会議に出席した2人以上の附属機関等の委員の署名を得なければならないとあります。本日の会議録署名印には、大平委員と千葉委員をお願いしたいと思っております。よろしくをお願いいたします。会議録の公開についてであります。会議の議事録及び資料は、後日、町のホームページで公開することを了承願います。

それでは、議事に入る前に事務局から報告いたします。

2月13日から3月13日までの30日間、パブリックコメントを実施いたしました。パブリックコメント期間中にご意見をお一人からいただいております。意見は電子メールにより提出されておまして、その内容は、事前に皆様に配布いたしました資料1になります。それに対しての町の対応が資料2になります。

ご意見を拝見する限り、このご意見での計画の修正は無いという結論に至りましたことを報告させていただきます。

それでは、美里町子ども・子育て支援事業計画策定等委員会条例第4条第1項の規定により、委員長が議長になることとなっておりますので、塩野委員長、議事の進行をお願いいたします。

塩野委員長 それでは、美里町長からの、第2期美里町子ども・子育て支援事業計画の策定についての諮問がありましたので、事務局から説明をいただいた

後に、委員皆様からご意見をいただきながら審議をしていきたいと思
います。それでは、第2期美里町子ども・子育て支援事業計画（案）につ
いて、事務局からの説明をお願いいたします。

齊藤補佐

※別資料に基づき説明

塩野委員長

それではただ今、事務局から説明がありました件について、皆様からご
意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

大平委員

2、3お聞きしたいと思います。

まず1つは、50ページ「第4章 基本計画」の中の「第3節 子ども
たちが健やかに成長するために」の「4. 子どもの貧困対策の推進」に
関連するかと思います。この中には出てきてはいませんが、私の知り合
いから、「美里町で子ども食堂をやりたいんだけど、どこでどうや
たらいいか迷っている」と言われたんです。それで、美里町の現状とい
いますか、どのようになっているのか知りたいんだと。私もわからない
ので、今度聞いてみるからと話したんですけど、実際どのような状況な
のかというのが1つと、例えば、子ども食堂をやる場合に、町からの何
らかの補助のようなものはあるのか。あるいは、公民館や地区館、調理
室があるといいんですけども、そういった公共の施設を無償でお借り
することができるかについてお願いします。

齊藤補佐

それではお答えいたします。美里町の中では、町ではなく一団体が行っ
ている状況でございます。開催は月に1回、いずれかの金曜日だったか
と記憶しております。場所につきましては、駅東地域交流センターで行
っていると把握しております。

町からの補助という話についてですが、現段階では行っていないという
状況でございます。

大平委員

交流センターの使用料などはかかっていないんですか。

齊藤補佐

そちらにつきましては、町にサークル団体として登録していただいてか
らの活動となっております、実質は無料になります。冷暖房費につ
きましては、使用した分だけかかってしまうということです。

千葉委員

対象は子どもですか。

齊藤補佐

お子さんも当然対象になりますし、中には家族連れで利用される方もい
らっしゃると聞いております。また、一人暮らしの高齢者の方も何人か
利用されていると聞いております。

大平委員

聞いたところによりますと、子どもたちだけで「さあいらっしやい」と
言ってもなかなか集まってこない。ですから、家族であるとか、今おっ
しやったとお年よりの方と一緒に、孤食を無くすという意味でも、

より多くの人に来てやすいような形をつくる。それから、まるっきりタダというのは良い形ではないので、何らかの負担をしていただくことが、かえって長続きするんだという情報もいただきました。今のお話をぜひ参考にさせていただきたいと思います。

それからもうひとつお願いします。48ページの「2. 障がい児保育時の充実」について、「障がいのある子どものなかで、保育所・幼稚園で集団保育を行うことにより発達の改善が図られると認められる障がい児を受け入れ」とあるんですけど、これはどういう意味なのか。事前に検査でもするのでしょうか。発達の改善が図られない子どもは断るのでしょうか。私の認識では、希望があったときは全て無条件で受入れるというような考えがあったものですが、どのような考えでいるのか、お話しいただければと思います。

今野参事

それでは今のご質問に対して回答させていただきます。

障がい児保育の充実と言うことで、現状から申し上げますと、現在、小牛田保育所で知的障がい者の方を一人お受けしております。当然のことながら、毎年ご相談があった部分につきましては、できるだけお受けしたいとは考えておりますが、現状、保育士不足などの部分で状況が許さないというところがございます。そういった現状を踏まえて、障がい児保育の定義でございますが、障がい児といっても定義はかなり広範囲になっております。昔は知的障がい児のお子さまと身体障がい児のお子さまというような、はっきりとした、手帳の交付を受けたお子さんばかりでしたけれども、この頃はいわゆる多動の子ども。それから、精神的なところで何か薬を服用して抑えているというお子さまもいます。それで、ご指摘の「発達の改善が図られると認められる障がい児」という部分ですが、かなり抽象的でわかりづらいというのはご指摘のとおりだと思います。ただ、今、障がい児がいるお父様お母様からは、健常児のお子さまと保育などの日常生活で交流を図りたいというのが要望としてきております。そうした中で発達の改善が図られるという点、これは事実だと思います。健常児と触れ合うことが障がい児のお子さまに及ぼす影響は多々あるように感じますし、これも大きい観点から言いますと、発達の改善が図られると認められると考えられます。そういった広い観点で、障がい児保育というものを考えていかなければなりません。

ただ、冒頭に戻りますが、現在の保育現場が許す状況というのが、今、私たちが迷っている部分でございます。つまり、そういうお子さまがいらっしゃれば、通常であれば保育所は0歳児3人について1人、1歳児2歳児であれば6人に1人、保育士がつくことと定められていますが、

ハンディキャップを持つお子さまの場合、専属の保育士をつけるのが基本になります。そういった現状を含めて、ひとつひとつの事象に対して検討してまいらなければなりません。我々としても100パーセントお断りするわけではございませんので、まず、ご相談に乗るとというのが基本で、その中で発達の改善が図られるかを個別に検証しながら、その受入れに当たっていきたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。

大平委員

これを初めて見て、何も知らないで来たときに、誤解されてしまうのではないかと。こういう子どもを持つ保護者というのは、藁にもすがる思いで来るものなので。それともう一つは、保育所・幼稚園で受入れられれば、それが小学校・中学校まで続くわけで、非常に大事な選択になると思うんですよ。そのことについて親の気持ちをいかにして汲み取るか。もし希望があれば全員を受入れるということが原則じゃないかと感じます。

以前ラジオか何かでこんな話がありました。

障がい児を持つ保護者が、小学校に入る際に、親としては、本当は特別支援学級に入れてほしいんだけど「発達障害があり迷惑をかけるので遠慮します。」と言ったところ、校長先生から「是非うちの学校に入れてください。」と言われ、なぜかを聞いたら「その子が入ることで、周りの子どもたちが支え合うことを知って、支え合う力がつくんです。お願いだから何とか入れてください。」とお願いされて入学させて、みんなから親切にされて良い結果になって嬉しかった。と言う話でした。そういうこともあるんだと思いました。私も以前現場にいたときは、できればお断りしたいと思う時もあるんですけど、このラジオを聞いて、そういう見方をしなければだめなのだと反省したものです。

保育所も幼稚園もそれに繋がるものだと思います、不動堂小学校に現状を聞いたところ、大変驚いたんです。というのは、不動堂小学校は全校児童数が434人で19クラスあるんですが、19クラスのうち15クラスは普通学級で、4クラスが特別支援学級だということです。

私が現職の頃は、そんなに特別支援学級の数は多くなかったので学校に聞いてみました。そうしたら、4クラスの中に9人いると。9人はずいぶん多いんじゃないかと思って中身を聞いてみたら、知的障がい学級が3人、情緒障がい学級が4人、肢体不自由児学級が1人、難聴児学級が1人だということでした。全校児童の数からすると約2%となります。こんなにたくさんいるのかと驚きました。それで教員補助員が8人いてやっとなら対応している。今年になって1人減らされて、非常に困っていま

すということだったんです。それが現状で、それに加えて、各クラスにADHDと思われる児童が2人から3人はいるというんです。そうすると莫大な数になるんですね。普通学級15クラスに2人ずつとして30人、それに特別支援学級の9人を足して39人。全校児童に対する割合は約9%になるんです。この子達にそんな対応をするかと言うのは非常に難しい。大変ですねと言ったら、全くそのとおりですと帰ってくる。毎日とんでもない状況になっているそうです。

そういった、小学校に上がっていく子どもたちの最初の対応が、この、障がい児保育の充実なのではないかと思うのです。ここでどういう対応をするかが、非常に大きなものになるのではないかと考えるわけです。ですので、希望があれば原則受入れるという形でなければだめなのではないかと考えます。はじめから特別支援学校を目指す子もいます。例えば小牛田支援学校ですが、ここは相当レベルが高く、なかなか入れないそうです。卒業したら運転免許を取る子もいるそうです。一番身近なのが、普通の学校に入って、普通学級の子どもたちと自由に交流できるような状態で育っていくことだと思います。それをまた、保護者の方も望んでいるということなんですよ。ですから、その辺も十分に配慮する必要があるのかなという気がいたします。

今野参事

ご指摘のとおり、私もその考えには賛成でございます。できれば、望むお子さまについては保育所・幼稚園で受入れるべきだと思います。それが、障がいを持つお子さまのみならず、健常児のお子さまに与える影響も、確かに大きいと思います。助け合いの気持ちとか、弱者を守る気持ちですとか。

今、不動堂小学校の例が出ましたが、確かに不動堂小学校は障がいごとに分けて4クラスの編成。そこには教育事務所の方に加配の先生を要望して、県から派遣していただくというスタイルだと思います。それと、ADHDのお子さんが普通教室に数人いるということでしたが、これも事実だと思います。それは町の方で補助教員を付けて、集団教育の中でフォローしている状況かと思います。学校の先生については所轄が県の教育事務所で、町からの要望によって配置していただいているところですが、これを保育所・幼稚園に置き換えた場合、保育士や幼稚園教諭は町の採用職員です。この間もですが、年中通してずっと保育士、幼稚園教諭を募集していますが、一向に来てくれない。何が問題かといえば、正規職員ではなく非常勤職員の募集であることもあると思います。ただ、令和2年4月からはまた制度が変わり、給料面での待遇も良くしていくところではあります。ただ、それでも社会的状況の中で、そもそも有資

格者が足りない。つまり、受入れていこうという目標は掲げたいし、最終的には「ここ」を目指しているということで障がい児保育の充実と掲載しておりますが、障がい児の受入れに対して理解し努力しつつも、人材的に充足させることができない現状というのは、委員皆様にもご理解いただきたいと思います。

大平委員

今、社会的にも問題になっていますよね。50歳、60歳になっても引きこもったり、あるいはADHDの症状で周囲に溶け込めない。そういう大人が沢山いると。ですから、小中学校に関しては教育委員会の分野だと思うんですが、ここがやっぱり出発点だと思いますので、教育委員会とも連携しながら対応していくというのが大事だと感じております。それからもう一つ。41ページの基本目標に関連して、基本目標として「安心して子育てができ 子どもも親も地域も互いに育ちあうまちづくり」とありますが、少子高齢化で人口がどんどん減っていく。これが大問題なんですけれども、美里町の場合も例外ではなくて、その結果、中学校の統合の話が進んでおります。生徒数が少ないから統合すると。それはわかるんですけれども、ただそれだけでいいのだろうかと思います。どれくらい減るのか、なぜ減るのか。増やすことは無理だとしても、なるべく減らさない方法をみんなで考える必要があるのではないかと思うんです。町のキャッチフレーズとして、例えば子ども会などが中心になってやっていけそうな気がするんです。

美里町が子育てしやすい町だと。それによって若い人たちがこの町に移住してくるということがあれば、人口減少を食い止める方策の一つになるんじゃないかと。毎月広報みさとに人口が載っていますけれども、あれを見ると、確かに人口は減っているんですね。ただ、大崎市もそうですけれども世帯数は増えているという現象があるようです。そこに、人口減少を食い止めるヒントがないかなと。「魅力ある町、子育てしやすい町」という趣旨の思い切ったキャッチフレーズを掲げるのがいいのかなと考えたりしているんですけれども、どうでしょうか。

今野参事

貴重なご意見ありがとうございます。子育てを目玉にということ。この間、町の総合計画も来年度で最終年を迎えますが、その中では、子育てにかかる部分も重点施策という位置づけをもって、この4年間取組んでまいりました。ただ、中心となったのが待機児童の解消で、その点について一番大きかったのが駅東に新しい保育所ができたということ。また、小規模の保育施設が増えてきたということで、低年齢児の受け皿はかなり増えました。

委員のおっしゃるとおり、子育ては人を集める上で良い要素であるとい

うことは事実かと思えます。しかし、我々も日々考えながら仕事をしておりますが、子育て施策というのは各市町村でも遜色無くなってきているということが言えるかと思えます。というのも、各市町村アイデアを出し合うわけですが、一つの市町村が始めると周りが追従する。ただ、その中で財源がかかりすぎると、じゃあ止めようということで一斉に止める。やはり、発想のリサイクルをこそ、行政も目玉にできると考えております。つまり、これを目玉にしようと言ったら、その次の手を考えると。新しいことを始めれば近隣の市町村は追従してきますから、そうしたら本町はもう一つ先に進むというようなやり方をしないと、特色あるまちづくりというのは難しいのではないかと感じます。

ただ、委員ご指摘のとおり、子育てというのは、住居を構えて人口増加になる重要な要素になることは間違いありません。そこも意識しつつ、さまざまな知恵を絞っていかねばならないと考えております。

塩野委員長

貴重なご意見ありがとうございます。本当に、「安心して子どもを産み育てるために」というキャッチフレーズはどこの市町村でも使われているものだと思います。ただ、町の意気込みというのが何に現れているかということ、若者のママさんたちは、ネットやSNSが情報源で、全国の子育て支援が活発な地域のホームページなどを見ますと、やはり、ほのぼのとした可愛らしいレイアウトで情報も満載で、ママさんたちに対し、いつでも遊びに来て良いですよという感じが満ち溢れているんです。ところが、仙台市も含めて宮城県内全域ではそういった要素が足りないなどは私もずっと感じていて、大平委員の言うとおおり、何か特化する目玉をもってキャッチフレーズを作っていくのは非常に重要なことだと思います。今はSNSですね。みなさんサークルに入りながら、グループで活動するのは面倒だし、家の中に引き籠もりたいし、でも家にいるとSNSで情報は入るので支障はないんですね。仲間と集まると傷つけたり傷つけられたりする。今はお母さん、お父さんが発達障がいという方も増えているので、そういう意味ではコミュニケーションが難しい状態だけでも子どもは育てなければならない。そうするとやっぱり、SNSという繋がり。これを私も重視しております。情報をどんどん配信して、かわいらしく、そしてお母さんたちにも気持ちよく。見る方はとても癒されますから。ですので、美里町でも、誰かそういう方面に詳しい若い世代の人を引き込んで、アイデアがある方は沢山いると思うので、何か接点があればいいと思います。

大平委員
今野参事

駅東の住宅地の分譲は全部終わったんですか。

県の住宅供給公社が保持していた土地については完売したと聞いてお

- ります。現状一部空きがありますが、あれはおそらく個人が保有している土地かと思います。
- 大平委員 ということは、駅東地域に若い世帯が入ってくるということは考えにくいという認識でいいでしょうか。
- 櫻井課長 今後は状況的には厳しいと思います。
- 大平委員 例えば、中学校合併の話が出ていますよね。これが行われれば、小牛田、不動堂、南郷の各中学校の土地が空きますよね。それをどう利用するか。中塚小学校跡地はまだ空いています。駅東は売れたけれども、その土地を活用して前向きな何かできないものかと考えておりますけれども。
- 青木委員 6年前もこの会議で提案したことがあったんですが、キャッチフレーズについて、美里町は良いことを沢山やっていて、立派な幼稚園があり大きい保育園もできて、中学校もこれから立派になり、中学生まで医療費は無料で、子育てしやすい町に既になっているはずなんです。ただ、その発信が周囲に全然できていなくて、先ほど塩野先生がおっしゃっていたSNSでの発信も足りないし。それで私が6年前に言ったのは、何をやったらいいかより先に、どうやったらできるかを考えるから良いキャッチフレーズが思い浮かばないのであって、例えばどかんと「日本一子育てしやすい町」と言うキャッチフレーズを入れてしまえば、それはもうやらざるを得なくなってしまうので、いろんな意見がどんどん出てくるはずだということでした。その時はさらっと流されちゃったんですが、今は皆さんそういう考えをお持ちなので、やはりやらないといけないんじゃないのかなと。他と差別化するならばどこも言っていないことをどかんと行って大口を叩いて始めないと、何も進まないんじゃないかと。気負ってしまえばアイデアはいくらでも出てくるし、実行しなければいけないという危機感も出てくると。私も、SNSの活用も重要だと思っていて、私もひっそりと子育てブログをやっているんですけど、結構アクセスしてくれる人は多くて、コメントをくれたりとか。そういうものを見ているお母さんたちも結構多いんですよ。悩んでいるお母さんとか。そういう発信力とか、キャッチフレーズをどかんと最初に持ってくると、みんな「あ、美里町本気になったのかな」という感じが出るんじゃないかと思います。
- 今野参事 政策を巻き込んだ中でやっていけば、それはかなり有効な施策になると思います。
- 塩野委員長 それでは次の議題に入りたいと思います。（2）第2期美里町子ども・子育て支援事業計画の策定に係る町長への答申について、事務局からお願いします。

齋藤補佐 ※別資料に基づき説明

塩野委員長 只今の件について、委員の皆様からご意見、ご質問等がありますか。
それでは議題についてはこれで終わりいたします。

次に「その他」でございますが、事務局から何かありますか。

齋藤補佐 その他と言うことで事務局からご案内いたします。次回の会議開催について、日程等はまだ決まっておりませんが、7月から9月頃に第3回目の会議を開催したいと考えております。これにつきましては、後日日程調整をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

青木委員 パブリックコメントの下の方に『検討していきます。』と言う言葉が多く具体的な案の記載が無かったのですが、検討結果や進め方の途中経過を町民が知る方法はありますか？」とありますが、この会議の中で出された意見に対しても、結果それが町の方でどうもまれて、どういう結論になってやる・やらないになったのかが次回の会議でうやむやになったまま進んでいて、毎回案が出るだけの会になってしまっているような気がするんですが。先ほど出たキャッチフレーズだとか広報の仕方だとかSNSの活用の仕方とか、そういうものを実際に揉んでいただいて、その話し合いの結果こうなりましたというのが次回の会議で見えると、こちらとしても意見を出した意味、この会の意味があるかなと思うので、それについてご検討いただければと思います。

櫻井課長 その点はお示しできるようにしたいと思います。ありがとうございます。
塩野委員長 ほかにありますか。

澤村委員 表示の仕方なんですけど、障害児の「害」をひらがなにしていきたいと思います。

齋藤補佐 今、澤村委員からご指摘いただいた件につきまして、計画の中で「障害」と明記している部分につきましては、「害」をひらがなに訂正して出したいと思います。町長への答申につきましては現在あるもので答申をし、その後に差替えという形で対応したいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

千葉委員 パブリックコメントの中の「アプリやライン」と言うところですけども、実際今のお母さんはアプリやネットなどでいろいろな事を調べて、考えるんだそうです。ただ、育児の関係だったり障がいの関係だったりを見すぎて、どれを信用していいかわからなくなるそうです。それで悩んで電話相談にかけてくると。そういった相談は専門の知識を持つ方に繋がったりするんですけど、お母さんからは「凄く悩んで気持ちが落ち込んでいたんです。」と言われる。SNSも大事かもしれませんが、様々

